



KONICA MINOLTA

安全データシート

整理番号：2022074010J-1

作成：2023/01/06

改訂：

製品名：

GC-501 (エチレン-メタクリル酸メチル共重合樹脂系ホットメルト接着剤)

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：GC-501 (エチレン-メタクリル酸メチル共重合樹脂系ホットメルト接着剤)

供給者の会社名称：コニカミノルタ株式会社

住所：〒100-7015 東京都千代田区丸の内二丁目7番2号

担当部門：環境統括部

(TEL:042-660-9409, FAX:042-660-9417)

緊急連絡電話番号：公益財団法人日本中毒情報センター（事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る）

中毒110番一般市民専用電話

(大阪)072-727-2499(情報料無料)365日24時間対応

(つくば)029-852-9999(情報料無料)365日9時～21時対応

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

急性毒性(吸入：気体)

区分

区分に該当しない(区分外)

GHSラベル要素

絵表示：	---
注意喚起語：	---
危険有害性情報：	---
注意書き：	---

他の危険有害性

高温の製品に接触すると火傷を生じる可能性がある。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：

混合物

成分及び濃度又は濃度範囲

成分名称	含有量 wt. %	CASRN®	化審法	安衛法		化管法	毒劇法
			官報公示 番号	官報公示 番号	通知物質	指定物質	毒物劇物
固体パラフィン	10-20	8002-74-2	2-10	非該当	通知	非該当	非該当
酸化チタン	0.1-1	13463-67-7	1-558	非該当	通知	非該当	非該当

4. 応急措置

吸入した場合：

過度に加熱された製品の蒸気を吸入してのど等に異常がある場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移動する。病状に変化が現れた場合には、直ちに医師の手当てを受ける。



KONICA MINOLTA

安全データシート

整理番号：2022074010J-1

作成：2023/01/06

改訂：

製品名：

GC-501 (エチレン-メタクリル酸メチル共重合樹脂系ホットメルト接着剤)

皮膚に付着した場合：

加熱溶融状態の製品が付着した場合、直ちに水で冷却した後、火傷に対する医師の手当を受ける。

眼に入った場合：

固体製品の場合、直ちに清浄な水で15分以上洗眼したのち、症状に応じて眼科医の診察を受ける。加熱溶融状態の製品が目に入った場合は、直ちに水で冷却し、眼科医の手当を受ける。目をこすったり無理に開けさせてはならない。

飲み込んだ場合：

水でよく口の中を洗浄すること。無理に吐かせず、可能であれば、指をのどに差し込んで吐き出させ、直ちに医師の処置を受ける。

最も重要な徴候及び症状：

加熱した製品が皮膚に接触した場合に火傷する。加熱溶融時に生じる蒸気は、目、鼻、のどを刺激することがある。

応急措置をする者の保護：

加熱された製品に触れる場合、保護眼鏡、手袋、長袖作業衣等の保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項：

特になし。

5. 火災時の措置

適切な消火剤：

二酸化炭素、粉末消火剤、乾燥砂、耐アルコール泡消火剤

使ってはならない消火剤：

棒状水を使用しないこと。

特有の危険有害性：

この製品は不溶性で水に浮かぶ。融解生成物は重篤な薬傷を引き起こす可能性がある。

特有の消火方法：

水噴霧でドラムを冷却すること。

大規模火災：

警告：消火の効果が得られない場合には水噴霧を使用すること。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置：

消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。個人用保護具を使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：

保護具を着用する（8章参照）。十分換気されているか確認すること。高温で溶融した製品への接触は避けること。

緊急対応を行う者のための保護具：

8項で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項：

地上水又は下水施設に流さないこと。

封じ込め及び

溶融。乾燥砂／土で覆うこと。廃棄するために機械的にすくい取り、適切な容器に収容すること。可能であれば溶融物質を放置して自然に凝固させること。適切な個人用保護具(PPE)を使用すること。漏出物を慎重にすくい取るか掃き取って適切な容器に入れること。粉じんの発生を防ぐこと。汚染された表面を十分に浄化すること。

浄化の方法及び機材：

汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

二次災害の防止策：

7項及び8項に記載されている保護措置を参照すること。可能であれば溶融物質を放置して自然に凝固させること。

その他の情報：



KONICA MINOLTA

安全データシート

整理番号：2022074010J-1

作成：2023/01/06

改訂：

製品名：GC-501 (エチレン-メタクリル酸メチル共重合樹脂系ホットメルト接着剤)

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：	専用の溶融機器及び塗付機器を使用する。溶融温度は、製品説明書に示す使用温度範囲内とする。可燃物のため、付近に着火源となるものは置かない。
局所排気・全体換気：	蒸気を発散する取り扱い場所には、局所排気装置を設置すること。
注意事項：	容器の破損につながる粗暴な取り扱いをしない。
安全取扱注意事項：	溶融機器、塗付機器を扱う場合、手袋、長袖作業衣、保護眼鏡の火傷防止措置をとる。

保管

技術的対策：	屋内の倉庫に保管すること。
安全な保管条件：	高温を避けて、室内に保管すること。 開封して必要量取り出し後は、ゴミ、水などが入らないようにする。
安全な容器包装 材料：	情報なし。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策等：

密閉式の溶融機器を用いることが望ましい。蒸気を発散する取り扱い場所には、局所排気装置を設置すること。

許容濃度等

成分名称	厚生労働省(安衛法)	日本産業衛生学会	ACGIH	
	管理濃度	許容濃度	TLV-TWA	TLV-STEL
固体パラフィン	未設定	未設定	2mg/m ³ (fume)	未設定
酸化チタン	未設定	1mg/m ³ (吸入性粉塵), 4mg/m ³ (総粉塵)	10mg/m ³	未設定

保護具

呼吸用保護具：	保護マスク
手の保護具：	綿製保護手袋、耐熱手袋
眼、顔面の保護具：	普通眼鏡、側板付き普通眼鏡、ゴーグル型保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具：	長袖作業衣（綿製が望ましい）、安全靴

適切な衛生対策

作業後、手を良く洗い、うがいをしてから、飲食等をする。



KONICA MINOLTA

安全データシート

整理番号：2022074010J-1

作成：2023/01/06

改訂：

製品名：GC-501 (エチレン-メタクリル酸メチル共重合樹脂系ホットメルト接着剤)

9. 物理的及び化学的性質

製品

物理的状態：	固体
形状：	固体
色：	白
臭い：	データなし
融点／凝固点：	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲：	データなし
可燃性：	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界：	データなし
引火点：	データなし
軟化点：	90 (°C)
自然発火点：	350 (°C)
分解温度：	データなし
pH：	データなし
粘度：	データなし
動粘度率：	2800 (mPas) (180°C)
溶解度：	水：不溶
n-オクタノール／水分配係数(log値)：	データなし
蒸気圧：	データなし
密度及び／又は相対密度：	データなし
相対ガス密度：	データなし
粒子特性：	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性：	情報なし
化学的安定性：	通常の取扱い条件では安定である。
危険有害反応可能性：	通常のプロセスではない。
避けるべき条件：	極度の温度及び直射日光。熱分解を防ぐために、過熱しないこと。水やその他揮発性溶剤を溶融した接着剤へ加えないこと。静電放電(静電気放電)。ほこりの多い条件下では、火花及び静電気を含むすべての着火源を排除すること。
混触危険物質：	強酸、強アルカリ、強酸化剤
危険有害な分解生成物：	一酸化炭素、二酸化炭素、炭化水素
爆発データ：	
静電放電に対する感度：	微細な粉じんが十分な濃度で空気中に分散し、かつ着火源が存在する場合には、粉じん爆発危険有害性の可能性がある。
機械的衝撃に対する感度：	なし



KONICA MINOLTA

安全データシート

整理番号：2022074010J-1

作成：2023/01/06

改訂：

製品名：GC-501 (エチレン-メタクリル酸メチル共重合樹脂系ホットメルト接着剤)

11. 有害性情報

製品

急性毒性（経口）：	データ不足のため 分類できない
急性毒性（経皮）：	データ不足のため 分類できない
急性毒性（吸入）：	区分に該当しない（区分外）（気体） 成分データより分類 データ不足のため 分類できない（蒸気） データ不足のため 分類できない（粉塵・ミスト）
皮膚腐食性／刺激性：	データ不足のため 分類できない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：	データ不足のため 分類できない
呼吸器感作性：	データ不足のため 分類できない
皮膚感作性：	データ不足のため 分類できない
生殖細胞変異原性：	データ不足のため 分類できない
発がん性：	データ不足のため 分類できない
生殖毒性：	データ不足のため 分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)：	データ不足のため 分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)：	データ不足のため 分類できない
誤えん有害性：	データ不足のため 分類できない

成分

酸化チタン

急性毒性（経口）：	区分に該当しない（区分外） LD50: > 5000 mg/kg[ラット], LD50: > 12000 mg/kg[ラット]
急性毒性（経皮）：	区分に該当しない（区分外） LD50: > 10000 mg/kg(概算)[ウサギ]
急性毒性（吸入）：	区分に該当しない（区分外）（粉塵・ミスト） TCLo: 250 mg/m ³ /6hr/2yr[ラット], LC50: > 6.82 mg/L/4h[ラット]
生殖細胞変異原性：	AMES試験:陰性, 染色体異常試験:陰性



KONICA MINOLTA

安全データシート

整理番号：2022074010J-1

作成：2023/01/06

改訂：

製品名：GC-501 (エチレン-メタクリル酸メチル共重合樹脂系ホットメルト接着剤)

発がん性： 分類できない
IARC:2B,
ACGIH:A4

12. 環境影響情報

製品

生態毒性
急性毒性： 分類できない
データ不足のため
慢性毒性： 分類できない
データ不足のため
残留性・分解性： 製品データなし
生体蓄積性： 製品データなし
土壤中の移動性： 製品データなし
オゾン層有害性： データ不足のため
分類できない

成分

酸化チタン

生態毒性
急性毒性：
魚類： 96hLC50: > 1000 mg/L [Pimephales promelas]
甲殻類： 48hEC50: > 1000 mg/L
藻類： 72hEC50: > 10000 mg/L [スケレトネマ]
慢性毒性：
生体蓄積性： 低濃縮性

13. 廃棄上の注意

廃棄方法： 法律に従い廃棄すること。
汚染容器及 空容器を再利用しないこと。
び包装：

14. 輸送上の注意

国連分類 国連分類： 非該当
国連番号： 非該当
品名 (国連輸送 非該当
名)：
容器等級： 非該当



KONICA MINOLTA

安全データシート

整理番号：2022074010J-1

作成：2023/01/06

改訂：

製品名：GC-501 (エチレン-メタクリル酸メチル共重合樹脂系ホットメルト接着剤)

15. 適用法令

消防法：	非該当
毒劇法：	非該当
安衛法：	名称等を通知すべき有害物（固体パラフィン、酸化チタン）
化審法：	一般化学物質から構成されている
PRTR法（化管法）（2009年施行）：	非該当
PRTR法（化管法）（2023年施行）：	非該当
水質汚濁防止法：	非該当

16. その他の情報

参考文献等：
 化審法の既存化学物質安全性点検データ集（化学品検査協会）
 国際化学物質安全性カード日本語版（化学工業日報社）
 環境化学物質要覧（環境庁環境化学物質研究会）
 新版危険・有害性便覧（中央労働災害防止協会）
 RTECS (U. SDEPARTMENT OF HEALTH AND HUMAN SERVICE)

免責文：
 記載内容は現時点でお手に入手できた情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。危険有害性の評価は、今後の新しい知見で改訂されることもあります。また、記載事項は当製品についての通常の取扱いを対象にしており、特別な取扱いや組み合わせの場合は用途・用法に適した安全配慮の上お取扱い願います。